

土木工学・建築学委員会企画分科会
環境工学連合小委員会（第25期・第1回）
議事録

日 時 令和3年5月25日（火）12:45～13:20

会 場 Zoom

出席者：浅見，田辺，前川，森口，村山、廣吉，中野，村上、小澤、高島，八重樫，松野，奥田（文責）、党，秋元、醍醐、金澤，梅村，亀屋，小口
オブザーバー：一ノ瀬（環境科学会次期委員）、桃井（土木学会事務局），足立・河瀬（日本化学会事務局）、湯浅（化学工学会事務局）、宇都宮（資源・素材学会事務局）

配布資料（メールにて事前配布済み）

- 資料1-1 環境工学連合小委員会（第24期・第8回）議事録
- 資料1-2 環境工学連合小委員会（第25期・準備会）議事録
- 資料2-1 環境工学連合小委員会設置提案書（幹事会承認済み）
- 資料2-2 環境工学連合小委員会委員名簿（幹事会承認済みを更新）
- 資料2-3 環境工学連合小委員会委員名簿（学協会順）
- 資料3-1 第33回環境工学連合講演会プログラム
- 資料3-2 第33回環境工学連合講演会論文集への世話人の寄稿文
- 資料4 第34回環境工学連合講演会の開催について
- 資料5 第25期の小委員会活動の今後の予定と検討課題
- 資料6 日本学術会議学術フォーラム「環境学の新展開」ポスター案

議 事

議事に先立ち、定足数を満たしていることが確認された。

1. 前回までの議事録の確認
 - 資料1に基づき森口世話人から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 資料1-1に基づき、24期第8回小委員会の議事録案を確認した。
 - 資料1-2に基づき、25期準備会の議事録案を確認した。
2. 小委員会の継続設置趣旨の説明及び役員の選出
 - 資料2に基づき森口世話人から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 資料2-1に基づき、本小委員会はこれまでの小委員会の活動を継承し、講演会活動をはじめとする環境工学分野の連携を充実することを目的に設置するものであることを確認した。
 - 資料2-2、2-3に基づき、25期の委員名簿を確認した。なお環境科学会は後藤委員から一ノ瀬委員へ交替する。
 - 第25期の当小委員会の委員長の選出を行った。複数の委員より森口委員が推薦され、全会一致でこれを承認した。
 - 委員長から、副委員長として現幹事学会（土木学会）から、幹事として次期（化学会）および次々期幹事学会（建築学会）からの委員にお

願いたい旨発議があり、認められた。

3. 第33回環境工学連合講演会の開催について
 - 資料3に基づき幹事学会である土木学会の八重樫委員から説明があった。主な点は以下の通り。
 - 事前登録者は634名、午前中の聴講者は200～300名の間で推移。
 - Zoom Webinar は土木学会のライセンスを使用しているが、申し込み多数につき上限を拡大した。
 - 当日の運営は土木学会会員および事務局にて担当。
 - 午前のセッションでは質問者が偏ることを懸念する意見があった。
4. 第34回環境工学連合講演会の開催に向けて
 - 資料4に基づき幹事学会である日本化学会の奥田委員から説明があった。主な点は以下の通り。
 - テーマは承認済みである「環境工学の22世紀」のままとしたい。
 - 特に各学会の若手会員（奨励賞受賞者等）のご講演を期待する。
 - 現地開催ができることを期待しつつも、オンライン配信のメリットも合わせたハイブリッド・ハイフレックス型の開催形態を検討する。
 - 当日の運営は日本化学会会員および事務局にて担当の予定。
5. 第25期の小委員会活動の今後の予定と検討課題について
 - 森口小委員長から資料5に基づき説明があった。主な点は以下の通り。
 - 各委員においては25期末（2023年9月末）まで在任いただけると有難いが、学協会側での都合上、期の途中で交代される場合はこの限りではない。交替される際は森口小委員長までご連絡いただきたい。
 - 2023年開催予定の第35回講演会（輪番では日本建築学会が主幹事学会）について、テーマ候補の審議を早い段階から行えることが望ましい。その後については、日本学術会議の活動全般についての検討状況も踏まえて今後の小委員会で検討予定。
 - 過去の講演会の開催内容などの活動記録は収集済みであり、公開方法について検討中。
 - 環境工学連合講演会の開催以外にも、国際的な観点も含めた活動や連携の充実について、今後とも各学協会からの提案をいただきたい。
6. その他
 - 浅見委員から資料6に基づき説明があった。日本学術会議学術フォーラム「環境学の新展開」（森口小委員長も登壇予定）の周知およびご聴講をお願いしたい。学術会議事務局に確認の上、環境工学連合小委員会を協力に記載したいとの発言があり、了承された。今後、森口小委員長から環境工学連合小委員会の関連行事について環境学委員会とも連携していきたいとの提案があった。

以上